

# 芦屋市聖苑



緑豊かな自然環境に調和し、

厳粛な中にも心の安らぎのある「芦屋市聖苑」

## ごあいさつ



このたび、長年の懸案であり、整備を進めておりました芦屋市火葬場（名称 芦屋市聖苑）が最新の技術の粋を結集し、完成のはこびとなりましたことは、誠に喜びにたえません。

これもひとえに、地元の皆様並びに多くの市民の方々、関係者各位のご理解とご協力の賜物と深く感謝を申し上げます。

芦屋市聖苑は、昭和63年に現地で建替えを行うとの市の方針に基づき整備事業を進めてまいりましたが、平成7年1月17日の阪神・淡路大震災で本市が未曾有の被害を被り、事業も一時中断を余儀なくされました。

しかし、火葬場は市民生活に必要な都市施設でございますので、平成12年4月から事業を再開し、震災前に策定しておりました施設整備の基本計画や環境影響調査の見直し、火葬炉の選定、火葬棟の実施設計等を行い、平成15年11月に着工したものでございます。

完成いたしました「芦屋市聖苑」は、外壁に静寂、重厚な装いを備えた御影石を使用し、苑内に可能な限り緑を配して周囲の豊かな自然環境との調和に努め、建物内部は黒と白を基調とした色調で統一し、炉前ホールの化粧扉に市花「コバノミツバツツジ」のデザインを採り入れるなど、厳粛な中にも安らぎを感じさせるよう配慮しております。

また、火葬炉は、最新のコンピューターシステムや炉設備を導入し、無煙・無臭化を図り、更なるダイオキシン類対策として、バグフィルターにACF（活性炭素繊維）吸着フィルターを付加するなど、周辺環境に影響を与えないよう特段の配慮をいたしております。

本施設が深い悲しみの中で故人を偲び、別れを惜しむ人生終焉の場にふさわしい尊厳に満ちた清雅な施設として、ご利用いただけますよう管理運営に万全を期してまいり所存でございます。

今後とも、芦屋市聖苑の運営にあたりまして、なお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成17年2月

芦屋市長 山中 健



### 玄関

静寂、重厚な装いを備えた御影石を使用した玄関



### 非常用発電機

火葬中に停電した場合に、瞬時に火葬炉の運転を再開できるように設置されています。騒音対策として、建物内に設置しています。



### 火葬炉

燃焼をコンピューターで制御する最新式火葬炉を備え、無煙無臭化とダイオキシン類等の発生防止に万全を期しています。



### 炉前ホール

ご遺族が、故人と最後の別れを行う場。人生の終焉の場にふさわしく、心落ち着く空間となっています。化粧扉には、市花「コバノミツバツツジ」をデザインした模様を採り入れています。



### 集塵機

ダイオキシン類の更なる削減のため、ACF(活性炭繊維)吸着フィルターを付加しています。



### 再燃焼炉

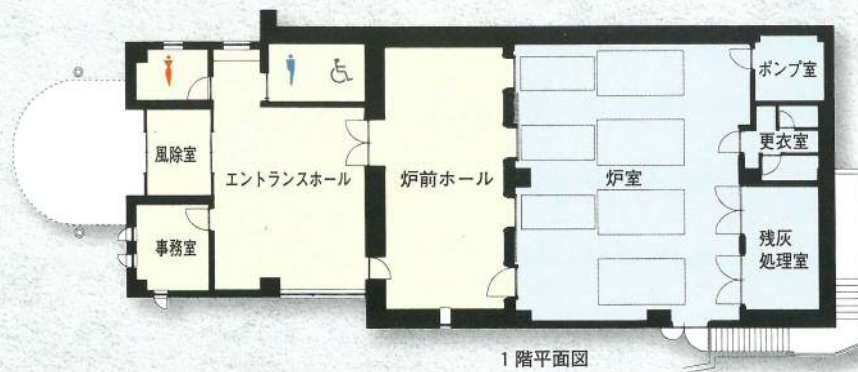
十分な再燃焼効果を得るため、円筒型縦型炉を採用した再燃焼炉。主燃焼炉からの排ガスを850℃以上の高温で完全燃焼させ、臭気、ダイオキシン類の発生を防止します。



### エントランスホール

黒と白を基調にした、厳粛な雰囲気の中にも安らぎのある待合機能を持たせたエントランスホール

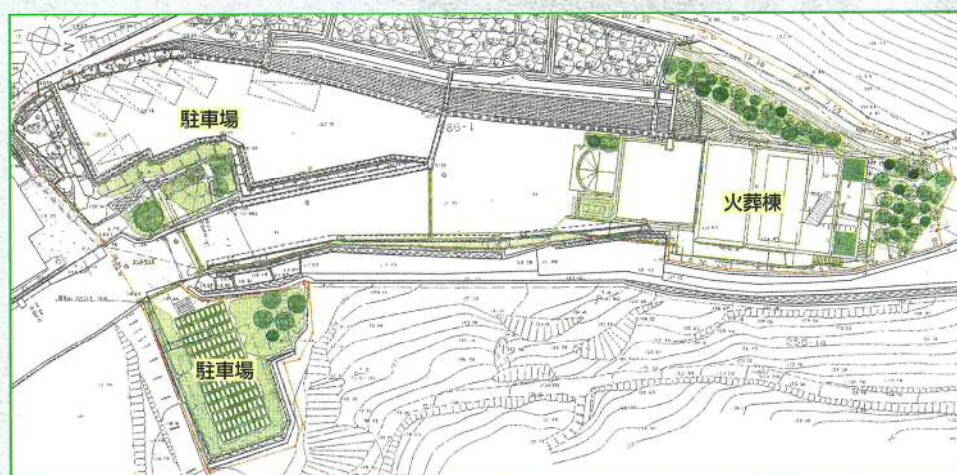




1階平面図



2階平面図



## 施設概要

名称	芦屋市聖苑
所在地	芦屋市三條町39番32号
事業年度	平成12年度～平成16年度
総事業費	約7億7千万円（土地取得費一部を含む）
建物構造	鉄筋コンクリート造2階建
敷地面積	3,468.06㎡
建築面積	294.44㎡
延床面積	471.15㎡
主な施設	人体炉3基、動物炉1基、 バグフィルター（ACF吸着フィルター内蔵）2基、 エントランスホール、炉前ホール 駐車場（マイクロバス1台、普通車10台）
施工会社	設計 セントラルコンサルタント株式会社 建築工事 株式会社永瀬 火葬炉工事 太陽築炉工業株式会社

## 交通案内



- JR芦屋駅からタクシーで10分
- 阪神芦屋駅からタクシーで10分
- 阪急芦屋川駅からタクシーで5分

## 芦屋市聖苑

芦屋市三條町39番32号

TEL 0797-25-2478 FAX 0797-25-2480